

第2回 吹田市ごみ減量再資源化推進会議 議事要旨

1 日 時

平成31年1月25日（金）午後2時00分から午後3時50分まで

2 場 所

吹田市役所 中層棟4階 全員協議会室

3 出席委員

会長 市民団体5名 事業者8名 行政0名 計14名

4 概要

(1) 平成30年度の取組経過について（報告）

資料1-1、資料1-2、資料1-3について事務局から説明。

- ・冷蔵庫の食品を捨てないように賞味期限を記載できるシールを配布すれば良いのではないかと。
- ・キャンペーンに参加する市民団体が少ないので、盛り上げていく方法を考えるべき。
- ・本会議活性化のため、市民部会等を検討しても良いのではないかと。
- ・宴会で食べ残しをなくすには、「分け奉行」という役職をつくり、大皿料理が来たら全て取り分けてしまうと良い。

(2) 平成31年度以降の取組の方向性について（意見交換）

資料2について事務局から説明。

事業者

- ・「バンドル販売（30円のうどんが5個セットで100円）」を止めて、「よりどり販売（30円のうどん、そば、中華麺から5個選んで買えば100円）」をするようにしている。
- ・フードドライブを実施しており、フードバンク関西や各市の社会福祉協議会、こども食堂に食材を提供している。スーパーで廃棄する予定のまだ食べられる商品についても、こども食堂やフードバンクに提供している。神戸市と共同で、値引き商品に手前から取るように促すシールを貼っている。
- ・小学生に来店してもらい、インストラクターの資格を取った社員が環境・食育について教育する取組をしている。
- ・小学3年生を中心に社員がインストラクターとなって講義をしている。
- ・神戸市でフードドライブをしているが、広がっていくかは分からない。
- ・小さいサイズの調味料を使うようにすれば食品ロスが出にくくなる。
- ・長年商売をしている人でも天候の具合をはかるのは難しい。
- ・正しい保存方法を消費者が知っていれば、賞味期限・消費期限内であればきちんと食べられる。

市民団体

- ・ 今後はフードドライブに協力したい。
- ・ 賞味期限で食品の廃棄時期を判断しがちなので、五感で判断することを広めていきたい。
- ・ 東京オリンピックでは持続可能性を全面に押し出すため、ボランティアへの環境教育やテレビCMで広まっていくと思われる。食品ロス削減のきっかけになる。

(3) その他 マイバッグ持参率について (報告)

資料3について事務局から説明。

- ・ まだレジ袋の無料配布中止をしていない事業者にも無料配布中止をするように、働きかけを続けていくべき。

(4) その他 プラスチックごみについて (情報提供)

資料4-1、資料4-2について事務局から説明。

- ・ まずはレジ袋無料配布中止を進めていくべき。事業者だけでは実現できないので、三者協働で取り組まなければならない。
- ・ 有料のレジ袋には環境に優しいバイオマスの素材を使用しており、マイバッグ持参に繋がるように高価で販売している。
- ・ 包材の素材を変えたり薄くしたりする工夫をして、ある程度プラスチック削減の効果が得られた。

(5) その他 資源物の持ち去り行為の禁止について (情報提供)

資料5について事務局から説明。

(6) その他

- ・ 京都市と協力して3分の1ルールに則らない販売方法を実施した。その際に京都市は京都新聞や市民団体による説明により、賞味期限等についてきちんと周知した。昨年1ヶ月間モデル的に実施した結果、約10%の食品ロスが削減された。